

バックチェック報告の妥当性確認の主なポイント等について（案）  
（日本原子力研究開発機構 既設試験研究用原子炉施設）

平成 22 年 9 月 7 日  
原子力規制室

バックチェック報告の妥当性の確認については、重要なポイントを中心にサブワーキンググループで確認頂いた上で、事務局において確認結果をとりまとめていくこととする。

日本原子力研究開発機構 既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性評価結果の妥当性確認における重要なポイントは、以下の項目と考えている。

【地質・地震動サブワーキンググループ】

1. 地質・地質構造

陸域

- ・ 棚倉破砕帯西縁断層（の一部）、棚倉破砕帯東縁付近の派生断層\*の活動性
- ・ 関口 - 黒磯リニアメント\*の活動性
- ・ 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動\*の評価
- ・ 関東平野北西縁断層帯の綾瀬川断層の南東延長部の活動性

海域

- ・ 敷地前面海域に認められる断層\*の評価
- ・ F 3 ~ F 4 断層の評価

2. 基準地震動  $S_s$

プレート間地震（1896年 鹿島灘の地震）の想定と地震動評価（震源のモデル化を含む解析手法、パラメータの設定や不確かさの考慮について）

海洋プレート内地震（茨城県南部のプレート内地震）の想定と地震動評価（震源のモデル化を含む解析手法、パラメータの設定や不確かさの考慮について）

基準地震動  $S_s$  の策定結果

原子炉建屋への入力地震動

原子力科学研究所：JRR - 3、JRR - 4、NUCEF（STACY、TRACY）

\* 中間報告書（その1）において、耐震設計上考慮すべき活断層として評価されていないものも審議のポイントに含め、活動性評価の根拠について確認する。

【施設・構造サブワーキンググループ】

3．施設の耐震安全性評価

施設の耐震安全性評価に係る妥当性確認の主なポイント等については、日本原子力研究開発機構から報告後に提示予定とする。

建物・構築物

原子力科学研究所：JRR - 3

JRR - 4

NUCEF (STACY、TRACY)

機器・配管系

耐震性安全性妥当性確認WG 第3回～第 回WGにおけるコメントの整理  
～日本原子力研究開発機構 既設試験研究用原子炉施設(JRR-3)～

確認のポイント	コメント	WGにおける原子炉設置者の回答
<p>0. 共通事項</p> <p>1. 地質・地質構造</p> <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 棚倉破砕帯西縁断層(の一部)、 棚倉破砕帯東縁付近の派生断層の 活動性</li></ul> <p>海域</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 敷地前面海域に認められる断層の 評価</li></ul>		<p style="text-align: center; border: 3px double black; padding: 10px;">記入例(イメージ)</p>